



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 岡崎 壮男

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1003 回	51 名	50 名	45 名	—	90.00%
前々回 1001 回	51 名	50 名	42 名	2 名	86.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男
<ロータリーソング> 我等の生業
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>
<本日のゲスト>
国際ロータリー第 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐 勝川 生年 様

<会長の時間> 会長 山本 辰男

本日は勝川ガバナー補佐様には、例会においで頂き有難うございます。後程ご指導よろしく申し上げます。又、ようやく一年が終わろうとしています。大変お疲れ様でした。年度始めは色々お聞きしまして申し訳ございませんでした。お陰様で当クラブの剣田に決まりました。有難うございます。

このごろ日が長くなり 7 時の会合にも明るくてよく見えるので近所の人に顔を隠して外出しなければなりません。夏も近づくと何とかですね。

さて、最近のニュースを見ていると職業意識の無い人の国や、火事場泥棒みたいな国や、一つの国として態をなしていない国など本当に国家としての品格が感じられない事件が起きています。飛騨弁でいうところの「だっしやもない」ですね。

国民のそれぞれの品格の集合が国家の品格なのでしょうが、ロータリーに沢山入会をして頂き、人間としても職業人としても勉強を直して頂きたいものです。

話は変わりますが、先日飛騨高山高校に交換留学生のお願いに剣田さんと堀口さんで行って参りました。何とか決まればいいのですが、だれか校長先生やインターアクトの先生をよく知って見える人がありましたら宜しくお願いします。本日はプログラム委員会の担当です。新宮委員長宜しくお願いします。会員スピーチ人間としての品格の良い人です。楽しみにしています。



<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

<高山市青少年育成市民会議より>
・平成 26 年度高山市青少年育成市民会議総会開催のご案内

日時：5 月 29 日(木) 19:30～21:00

会場：高山市役所地下大ホール

<高山市民憲章推進協議会より>

・平成 26 年度高山市民憲章推進協議会総会開催のご案内

日時：5 月 27 日(火) 19:00～

会場：高山市役所地下市民ホール

<クラブ訪問>

国際ロータリー第 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐 勝川 生年 様

・本日 4 回目のクラブ訪問に参りました。昨晩から久しぶりの高山に来られる事をとても楽しみにしていました。

道中の山々がとても若々しい緑を眺めながら高山に着くと、東の山々に残雪が沢山残っており素晴らしく自然に恵まれた処にこの 1 年間何度も訪れる事が出来ました。AG のお仕事頂いたお蔭と感謝しています。

その任期もあと僅かと成りました。1 年間、未熟な私にご支援ご協力頂きました皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

AG の仕事として皆さんにお願いばかり致しました。まず IM への参加・地区大会への半数以上登録・グループ研修会一昨日の 8 クラブ合同コンペ 沢山の方に参加頂きました。その都度大変遠くから参加をして頂き改めて御礼申し上げます。

・10 月 19～20 地区大会では桑名・長島で開催されました。1356 名登録 会員総数 3142 名中 地区全体として 43% 参加が有り 高山中央さんより 14 名登録頂きました。濃飛グループからは 95 名の登録 39%でした。



- ・9月28日濃飛グループ242名中、IM163名登録下さいました67%の参加でした。
高山中央クラブさん 25名登録下さいました。
講師 中日新聞社長小出宣昭氏「記者の目から見た日本」好評を頂きました。
二部の懇親会では「おしりとり」をご披露下さり、一気に和やかな雰囲気にして下さいました。
今年急遽、11月10日のグループ研修会を開きました。39名参加頂きました高山中央さんから4名参加頂きました。服部PGの基調講演を始め 地区より7名のカウンセラーと共に新会員の退会防止と予防についてお話を聞きました。
- ・先週の8クラブゴルフコンペ36名の参加を頂き、晴天の中、楽しく親睦を深めることが出来ました。
濃飛グループ現状 会員数5月8日 会員数242名 期首235名 7名増員ですが年度末の退会者が7名有りました。結果、元に戻った状況と考えています。

来期のアシスタントガバナー 可茂クラブ所属 兼松政則さん、ロータリー歴16年 お仕事は株式会社 テクノライン 機械電気設計 会社は後継者に恵まれ 自由な時間が有るそうです。
最後に成りますが、高山中央クラブさんこれから25周年を迎えられ、更には2016～17年度には剣田様がガバナーに決定しています。大変お忙しい事と思いますが、皆さんの御力と決断力で必ずや大成功される事と信じております。

1年間誠に有難う御座いました。

<本日のプログラム>

出席/プログラム委員会

新宮 委員長



<会員スピーチ>

大原 誠

地域密着型金融の取組みについて

飛騨信用組合は本年9月28日、お蔭さまで創立60周年の佳節を迎えます。

60年という長年の皆さまのご後援に対する感謝の意を込めて、いくつかの地域貢献事業を計画しており、そのメイン事業となるのが育英資金制度の導入です。

当該事業の概要は、将来の高山市を担う人材の育成のために奨学金を貸与するものですが、当組合が基金を拠出の上、財団を組成し事業の公益性を確保します。

詳細については、公表できる段階にありませんが、早期のスタートに向け準備しており、ご期待いただきたいと思います。



さて、以前にもお話ししましたが、当組合の営業地区は、高山市・飛騨市・白川村の2市1村、人口12万余人の限定されたマーケットです。

このような環境下で、60年という長きにわたり地域における事業の永続性を確保するには、「地域との繋がり、お客さまとの繋がり」が極めて重要であり、それを実現する方策として「リレーションシップバンキング：地域密着型金融※」の推進が求められています。

※金融機関がお客さまとの間で親密な関係を長く維持することにより、お客さまに関する情報を蓄積し、この情報をもとに、金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル。

去る3月18日、東海財務局長より地域密着型金融に対する当組合の取組みについて顕彰を受けました。

顕彰の対象となったのは、1資本性借入金による事業支援、2マイクロ投資型クラウドファンディングによる事業支援、3「ひだしんさるぼぼ倶楽部」による地域活性化の取組み、4高齢者向け金融支援（リバースモーゲージローン）の推進、以上4つの取組みです。

その内、「マイクロ投資型詳細について、」の仕組みを説明します。

クラウドとは「群集・幅広い人々（Crowd）」を意味し、ネット上で特定の「プロジェクト：事業計画・必要な資金額・事業リスク・企業情報等」を提示し、共感を得た投資家（不特定多数の賛同者）から、それぞれ少額の資金を集めファンドを組成しプロジェクトを実行、投資家にはそのプロジェクトから生ずる分配金の支払い、またはそのサービスや商品を投資家に提供する仕組みです。

資金調達側は、金融機関から借入できなかったプロジェクトであってもチャンスがあり、単なる調達手段にとどまらず、PR効果による新規の顧客獲得や需要調査（テストマーケティング）にも有効です。

一方、投資するサイドでみると非常に少額からの資金提供がネットで簡単に行え、商品等の特典を得ることができるメリットがあります。

これまで当組合が関わった4つのファンドの内、2つは募集額を達成し、プロジェクトをスタートしています。

クラウドファンディングの説明会を6月に3回開催しますので、ご参加いただけたらと思います。

今回の顕彰を踏まえ、「街のコンシェルジュ」として、これからも金融機能やコンサルティング機能の提供を通じて、地域経済・社会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、高山中央RC会員皆さまのご理解とご後援をよろしくお願いたします。

周 信夫

私の実家の稼業が眼鏡店でしたが世の中の流通の変革により個人商店として生き残れない時代が来る事は予見できており、眼科医になる事が唯一、会社が生き残っていける選択でありました。そうした両親の期待と高い学費を援助してくれたので留年する事は許されません。

大学の6年間は人生の中で最も勉強しました。会社を助けるために高山に戻って開業するには一年たりとも無駄にはできなかったのです。医師国家試験に受かって、それからの修行が大変でした。眼科は外科系なので技術を磨く



必要があります。どんな職種にも技術を磨くランニングカーブがありますが、特に医療系の場合、患者さんの体にメスをいれる事なので絶対に失敗は許されません。失敗がなくランニングカーブを挙げていくストレスは相当のものであります。しかし、大学病院時代は、教授、助教授、先輩等医局の仲間が助けてくれました。実家から早く高山に戻って開業してほしい訴えが毎年あり、最低限の手術はできるようになりましたが研修医から8年での開業はかなり早く不安もありました。当時は白内障手術が創口を大きく切って水晶体を取り出す手術から超音波を利用して小さな創口から砕く手術への変換期でした。開業するにはこの技術だけは確実に習得しておかなければなりませんので必死になって習得いたしました。ちなみに開業する前の病院で年間500例の白内障手術が一週間の入院を前提に8人の医師によって行われていました。現在当院では私一人だけでほとんど日帰り手術で500例の手術をしています。

当院は今年の7月に20周年を迎えます。東京ディズニーランドが成功し続ける要因は常に利益を新たなアトラクションに投資し続けている事だと思います。眼科医療も同じで、20年前の知識のまま医療行為をしいる事は患者さんの不利益につながります。毎年の利益を学会に積極的に参加し新しい機械や技術に投資をしています。今自分は医師に成れて本当に幸せだと思います。社会的名声や裕福な生活以上に患者さんに本当に喜んでいただく職業だからです。しかし、その見返りに肉体的、精神的ストレスを抱えています。この苦労は他の人には絶対分らない事だと思います。ストレス発散には飲んで騒ぐ事が一番です。ですからロータリー飲み会では、時には羽目を外す事もお許し下さい。(笑)

<ニコニコBOX>

本日はお世話になります。よろしくお祈りします。
濃飛グループガバナー補佐 勝川生年 様

勝川ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。
3・11以降ほとんどいなくなっていた外国人観光客ですが、今では3・11位前よりも増えているらしいです。本日5/19は旧暦の正保2年5月19日は宮本武蔵が亡くなった日。その著書である五輪書に万里一空と言うのがあります。正保の時代に武蔵は世界が空で一つに繋がっているというグローバリゼーションに目覚めていた事になります。更なる外国人観光客受け入れを。
理事役員一同

勝川ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。もうすぐ終わりですね。うらやましいです。
永家 将嗣

先週の例会にてお祝いを頂きました。明日で40歳になります。これからも皆様ご指導よろしくお祈りします。
高橋 厚生

今週から名古屋に住む4歳の孫が劇団ひまわりに入りました。ご用命の際はオフィスタナカまで問い合わせ下さい。じいじいに似て?可愛いですよ。
田中 雅昭

5/17、濃飛グループ8クラブ交流ゴルフコンペ参加させて頂きました。他クラブの方々と楽しく交流が出来ありがとうございました。1ホール17打をたたき、大たたき賞(特別賞)を頂きましたのでニコニコへ。
下田 徳彦

本日 急用のため例会を休ませて頂きます。
久々野 国良

